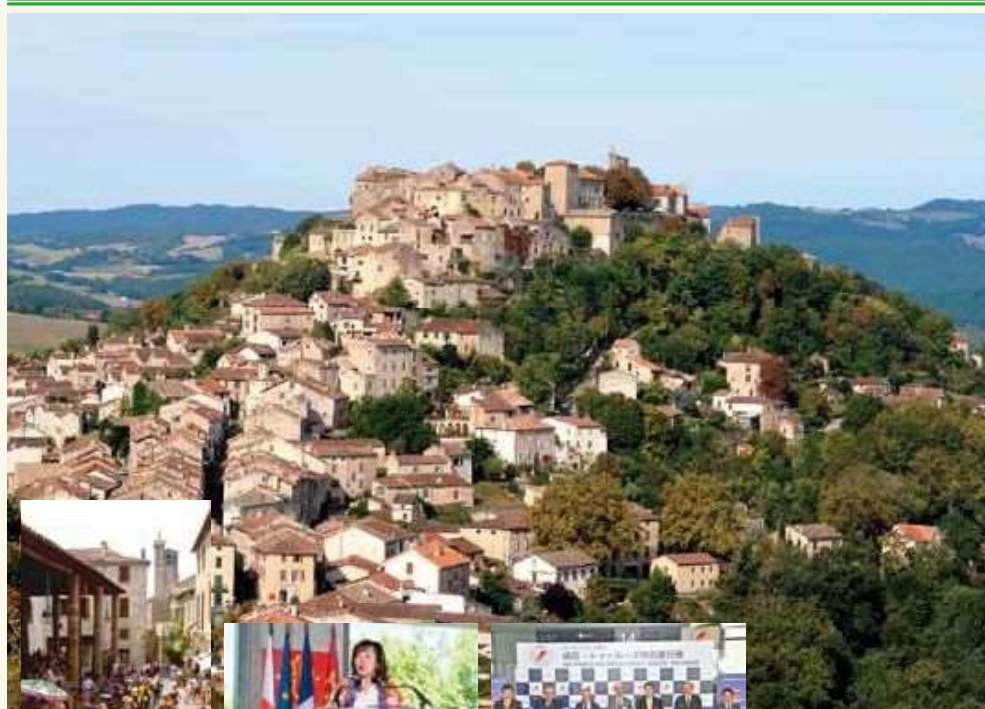


コルド・シュル・シエル (フランス)

素材研究 (海外)

オクシタニー地方の『旬』 天空の村コルド・シュル・シエル

今回は初めて日本／トゥールーズ直行便が飛んだオクシタニー地方のコルド・シュル・シエルをご紹介します。「フランスの美しい村」のひとつであるほか、同国のテレビ局が視聴者インタビューで選ぶ「フランス人の好きな村」の1位にも選ばれている、この地方有数のみどころです。



城塞の村コルド・シュル・シエル
© Patrice THEBAULT - CRT Occitanie



コルド・シュル・シエルでは夏に中世祭りも開かれます
© Dominique VIET - CRT Occitanie



オクシタニー地方圏議会議長のデルガ氏



成田空港の搭乗ゲート前で行われたチャーター便運航の記念式典

コルド・シュル・シエルは世界遺産に登録されている街アルビから25キロの位置にある、日本旅行業協会(JATA)の「ヨーロッパの美しい村30選」に候補となった風光明媚な村です。オクシタニー地方観光局が推進する「特選観光スポット」のひとつとして日本市場でも積極的にプロモーションされており、ツアーに組み入れられることも次第に増えてきました。

村は「天空に浮かぶ紐(コルド)」の名の通り、岩塊上に渦を巻くような特異な形状の城塞都市。条件が良ければ雲海の切れ目からその頭を覗かせるという、神秘的な光景が見られます。この城塞は13世紀、オクシタニー地方でとくに広まったキリスト教の一派、カタリ派の信者を守るため、

トゥールーズの伯爵が建設したもので、サンチャゴ巡礼路として14〜15世紀にかけて繁栄しました。村には往時を偲ばせる瀟洒なゴシック建築の邸宅が残され、現在ではアトリエを構える芸術家や職人らのギャラリー巡りや、世界的に有名なシヨコラティエ、イヴ・チュリエスの店が人気です。

初のチャーター便が実現 日本市場にさらに強い意欲

オクシタニー地方にはコルド・シュル・シエルの訪問拠点となる司教都市アルビのほか、地方の首都トゥールーズ、ピレネー山脈のガヴァルニー圏谷、古代ローマ遺跡のポン・デュガール、中世の城塞都市カルカソンヌ

など8つの世界遺産があるほか、サン・シル・ラポビーなどの美しい村や、モンペリエをはじめとする地中海側の地域など、歴史都市や自然といった、多彩な見どころがあります。オクシタニー地方圏議会と地方観光局は2016年から日本を優先市場として積極的な観光誘致プロモーションを展開し、2019年5月14日に、初の成田／トゥールーズ直行便が運航されました。これはエールフランス、フランス観光開発機構、ワールド航空サービスなどの旅行会社による共同企画で、トゥールーズから、ピレネー山脈の自然や、田舎の村々を巡る旅など、12本のツアーが催行されました。

初のチャーター便到着を出迎えた、オクシタニー地方圏議会議長のキャロル・デルガ氏は「これまでのオクシタニー地方観光局とパートナー機関が、日本市場に向けて積み重ねた努力の結果」と讃えつつ、
「オクシタニー地方を日本市場におけるヨーロッパの主要な旅行目的地の10位以内にランクインさせる」と意欲を示しています。



トゥールーズの中心、キャピトル広場
© Franck CHAREL



「フランスの美しい村」のひとつ、サン・シル・ラポビー
© CRTO P-Thebault